

備龍ぶこよ於る同日の詠也

一海と事

七き少湯不垂の敷し〜不盡〜〜一海と易の
地雷復の敷たより子の三十一字と一解り〜不盡
之七古一と解る一と誠て之と逐む天の敷〜人極の一
形純より其盤の目の二百三十一と將基の八十一と解
と解る〜事と知る〜昔武津河の家司たより人
減筆の身詠〜事なり〜に々々〜
一とのを花み〜〜年〜と暮る〜

いら〜〜〜家河〜〜の〜事

活の外機矯換〜事〜其方式詠とかり〜詠
〜又〜〜〜〜〜
〜〜〜男婦〜〜事〜告り〜社河〜
免〜〜〜〜〜〜〜〜〜
此我家の人事〜偶中〜詠〜〜の〜〜
不〜捨置家の子た〜〜不使〜〜
是より動ある〜〜春〜朝〜動氣と〜
〜